

人材育成のための海外派遣と 海外交流の推進

高山市政クラブ
今井 武男



問

海外への職員派遣による人材育成と海外交流推進は。

答

情報の収集や人脉の構築、誘客や販路拡大の促進、国際的な視点を持った人材育成に努める。ベトナム・フエ省との交流は、市内事業所のベトナムへの進出支援、相互にメリットがある発展的な交流である。また、昆明市は高山市と高地トレーニング施設等の共通点もあり、両市の産業分野や友好交流により相互交流を深めていく。



阮朝王宮(フエ市)

種子法廃止・種苗法改正に伴う取り組みは!!

高山市政クラブ
渡辺 甚一



問

「種を制する者は世界を制する」「種を制する者はブランド力を制する」高山市の農家では伝統野菜等の種を自家採取してきた。優良な種の発掘保存と歴史・文化など物語を作りブランド化し、有利販売に繋げていけないか。

答

伝統野菜のブランド戦略は、市独自の「メイド・バイ飛騨高山」認証制度を推進し、差別化を進めていきたい。市民や旅館・ホテルなど飲食関係者に伝統野菜の魅力・価値・品質を理解していくだけ、高山らしい伝統食文化の継承に取り組んでいく。



まち・ひと・しごと 創生総合戦略について

創政クラブ
伊東 寿充



問

企業活動、地域コミュニティ活動、伝統文化等あらゆる部分での人手不足の解消には、確保策と同様に、不足を前提としたうえでの生産性向上と省力化策への取り組み強化が重要であると考えるが市の見解は。

答

人口減少については依然として厳しい状況にある。域内での資金循環の構造づくりはもとより、最新技術の活用、組織体制の見直し、事業内容のスリム化等の取り組みにおいて、少人数での対応や効率化による省力化を可能にしていくといった観点もさらに重要視していきたい。



公共建築工事における 工期設定のあり方

創政クラブ
谷村 昭次



問

市が発注する工事請負契約は、公契約条例の基本理念から契約内容の適正な履行及び品質を確保するとしている。この基本軸は工期設定であり、一方では理由なき工事遅延は当然に認められない。市の適正な工期設定への考え方。

答

平成30年2月に国から示された公共建築工事の工期設定の考え方には、規模、難易度、地域実情、自然条件などを踏まえて適切に施工計画を想定し、その施工計画と整合の取れた工期設定が発注者にあることから、今後も留意して工期設定を考える。

